

日本真空学会東海支部 3月研究例会のご案内

日本真空学会東海支部

支部長 種村眞幸

この現象、実はどういうことが起こっているのだろうか？ なぜその選択をするのだろうか？ 「目の前で起こっている現象を視覚的にわかりやすく理解することができれば」というのは、様々な場面で直面する課題です。日常生活しかり、研究開発しかり。現象の本質をイメージすることができれば、はた目には一見大胆に見える次の一手を、力強く打つことも可能となります。今回の研究例会は、真空が関係する世界で研究開発を志す若い実験研究者を主な対象に、「原子、分子、粒子の流れる様を見てきたような世界」を知ること、自身の独自の実験の世界を切り拓くきっかけとなれば、という思いを込め企画いたしました。計算科学、分子の流れを読み切った上での装置設計など、各分野の専門家の先生に、最新の研究開発動向とトピックスを紹介していただきます。多くの皆様方のご来聴をお待ちしております。

主催：日本真空学会東海支部

協賛：応用物理学会東海支部、日本表面科学会中部支部（依頼中含む）

日時：2015年3月4日(水) 14:00～16:55

会場：名古屋工業大学 2号館 2階 0223 教室（名古屋市昭和区御器所町）

参加費：（当日会場にてお支払いください）

日本真空学会会員、協賛学会会員	無料
非会員	1,500 円
学 生	無料
懇親会（17:10～）	4,000 円（予定）

参加申し込み時に出席をお知らせください

テーマ「ながれを見る・読み解く」

- 14:00～14:05 開会の挨拶
種村眞幸（日本真空学会東海支部 支部長 名古屋工業大学 教授）
- 14:05～14:55 「新しい原子論的アルゴリズムによる大規模シミュレーションでチャレンジする自動車関連部品の高性能化」
尾形修司（名古屋工業大学 教授）
- 14:55～15:45 「真空の排気計算と真空ポンプの選定」
根塚幸雄（株式会社アルバック）
- 休憩（15分、15:45～16:00）
- 16:00～16:50 「斜め蒸着法による自己組織的なナノ構造の成長」
鈴木基史（京都大学 教授）
- 16:50～16:55 閉会の挨拶
- 17:10～ 懇親会

会場案内

名古屋工業大学 2号館 2階 0223 教室

名古屋市昭和区御器所町 (<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>)

JR「鶴舞駅」、地下鉄「鶴舞駅」から徒歩 10 分



申し込み・問い合わせ先

日本真空学会 東海支部 庶務担当 安部 功二

E-mail: abe@nitech.ac.jp